

学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成

関中だより

令和元年
10月31日
第23号
(文責 花岡)



最優秀賞を受賞した3年3Aです。
課題曲は「明日の空へ」
自由曲は「なんでもないや」

合唱コンクールの歌声が響きました
どの学年も合唱への取り組みが熱心で素晴らしいと思っていました。さらに、当日は最高の歌を歌おうという気持ちがダイレクトに伝わってきました。
それぞれの学年の良さがでた合唱コンクールでした。学年を追うごとに、発声方法やハーモニーがこななるに変わるのが驚きでした。
3年生は今までの積み重ねの集大成であり、曲自体も聴きごたえがあり、歌声も素晴らしいものでした。3年生は2クラスとも金賞を受賞し、亀山の小中音楽会に代表として出場します。
ぜひ、この素晴らしい合唱を亀山の他の学校にも聴いてほしいと思います。

坂下宿は、かつては難所・鈴鹿峠を控えた宿場町として賑わい、江戸中期には本陣3、脇本陣1を含め旅館51軒、町並5町56間あり(宿場の範囲は河原谷橋から岩屋観音までの約1kmでした。)、戸数約150戸、人口500人あまりと記録されています。鈴鹿馬子唄では「坂の下では大竹小竹唄がとりたや小竹屋に」(大竹屋は坂下宿の本陣の1つで小竹屋は脇本陣であった。本陣である大竹屋に庶民が泊まるのは不可能だが、脇本陣の小竹屋には少なくとも泊まってみたいものだ。)と唄われ、旅館や本陣も数多く東海道の繁栄を宿だったそうです。



文景し 三か
て、のま 十描
っの歌 五も
ら後 海道に
も午結 宿す
をの一 坂下
語祭に 宿い
美化初 馬次
た。 れて



まことに、「文化にふれる」です
東海道の難所の一つ鈴鹿峠を、旅人や荷物を乗せて安全に和やかに越していけるよう願いを込めて、馬子が馬の首に付けた鈴の音に合わせて唄われた仕事歌が「馬子唄」として残され、歌い継がれてきました。昭和56年、この唄の発祥地である亀山市で原型である節回しを継承し、後継者の育成を目的として「正調鈴鹿馬子唄保存会」が結成されました。平成16年、正調鈴鹿馬子唄は「亀山市無形民俗文化財」に指定され、保存会は「亀山市を代表する郷土芸能」として地域の文化を伝える活動を続けています。

今後の行事予定

- 11月 1日(金) 中体連鈴鹿地区駅伝大会(青少年の森)
- 11月 3日(日) 関宿街道祭り PTAバザー
- 11月 7日(木) 亀山市小中音楽会
- 11月 8日(金) 5限授業参観・関中学校教育懇談会
- 11月 9日(土) 青少年のための科学の祭典(青少年研修センター)
- 11月10日(日) 中庭コンサート13:30開演予定
- 11月11日(月) 進路説明会
- 11月14日(木) スペリングコンテスト
- 11月16日(土) 学校ふれあいデー、土曜授業
1年生 車いすバスケット体験
- 11月19日(火) 関中学校人権フォーラム
- 11月20日(水) 諸活動停止(～26日まで)
- 11月21日(木)・22日(金) 質問タイム
- 11月25日(月)～27日(水) 期末テスト
- 11月28日(木) 3年生 環境学習



このQRコードを読み込むと学校のホームページに行けます



教育懇談会は、15:00～16:00になつていきます。
授業参観、帰りの会を見学された方は、その後教育懇談会が行われますので、会場でお待ちください。
懇談会のみ出席の方は、直接会場にお越しください。

11月8日は授業参観、教育懇談会です